



地震被害評価情報を活用した想定地震の対策優先度に関する研究

戸松 誠¹⁾、岡田 成幸²⁾

1) 正会員 北海道立総合研究機構北方建築総合研究所、 修士 (工学)

e-mail : tomatsu@hro.or.jp

2) 正会員 北海道大学大学院工学研究院、教授 工博

e-mail : okd@eng.hokudai.ac.jp

要 約

本研究は活断層による都市直下地震を対象に、36パターン¹⁾の断層パラメータを設定して実施された複数の被害評価結果に基づき、自治体が最優先すべき想定地震を決定するための手法を提案するものである。防災対策項目を構造化し、防災対策を実施する自治体関係部局に対して、階層分析法 (AHP : Analytic Hierarchy Process) を応用し防災対策項目の重要度評価を行う。さらにこの重要度と複数の被害評価結果を用いて、複数の想定地震の優先度を求め、優先地震を決定する。

キーワード： 地震被害評価、直下地震、断層パラメータ、集団合意形成、AHP